

産建教育常任委員会 議事録

日時：令和7年11月5日（水）
午前10時00分～10時40分
場所：第1・2委員会室

出席者

委員名 ☐委員長 大和 晴美 ☐副委員長 丸子 直樹 ☐委員 竹内 和彦
☐委員 高橋 真理子 ☐委員 伊藤 貞悦

※欠席無し

会議次第

1 開会宣告 【委員長】

2 連絡

11月 6日（木） 午後 4時00分 山元町・新地町議会議員合同研修会

※公用バス役場3時30分、坂元支所3時40分発

9日（日） 午前10時00分 消防団名取・亘理地区支部連合演習

※開催地のため全議員招待、町民グラウンド

10日（月） 午前10時00分 全員協議会（議側）

11日（火） 午前10時00分 全員協議会（町側）

14日（金） 午後 1時00分 議会広報研究会（自治会館）

※10時30分役場集合、出発

28日（金） 午前10時00分 全員協議会（議案配付）

※ SideBooksの04_常任委員会 産建教育常任委員会フォルダに開催通知及び次第を格納しております。毎日の確認をお願いいたします。また、チームスでも共有します。

3 事 件

(1) 学校施設整備について 【教育総務課】

〔説明員：伊藤課長、佐藤施設整備班長〕

国の区長設備整備臨時特例交付金を活用し、冷暖房設備の設置を行う計画。避難所として指定されている体育館（学校）が対象。国庫補助、地方債等により、実質町負担は25%となる。築年数や整備が新しい（断熱工事等が比較的容易）状況のため、坂小、山二、山中をまずは整備対象とする。他2校は別途検討。8年度債務負担設定、設計。9年度設備工事開始（採択されれば）冷暖房の需要が急上昇しているので、スケジュールに関してそのあたりも懸念点。

委員長：今の説明について質疑はあるか。

伊藤委員：工事費割合断熱性の確保は窓ガラスが含まれるか。対象となるのか。また、すべての工事は断熱性工事等を含めるのか。町は避難指示発令時とあるが、山二は対象としているが、津波以外の避難指示の場合は開設か。最後に、避難所機能のみ今後残すのか。

課長：断熱性確保まで含めて交付金工事対象。体育館を残すのかについては、将来的に避難所として活用する場所で新しい箇所を整備する。山一小は急傾斜地対象の場所、山小は再編の関係により取り壊しの必要も出てくる。

班 長：窓も対象と思われる。国からのQAはないが、必要であれば対象となりえるととらえている。

伊藤委員：エアコンの設計は。天井取り付けか。

課 長：壁側設置を想定している。設計する段階で効率を計算し、最適な方法をとりたい。

副委員長：対象工事費上限7千万円は1カ所当たりか

課 長：その通りであるが、詳細は班長から

班 長：1施設単年度上限7千万円。しかし、複数年度採択されるかは不透明なため、年度分割の工事等はリスクがある。

副委員長：山二小は再編後も設置するとのことだが、旧坂中等はどうなるか

課 長：現在旧坂中は学校ではないので対象外。再編スケジュールもあるが早めに並行して行いたい。

高橋委員：1施設上限7千万円ということは、3施設で2億を超える計算か。

課 長：その通り。しかし、国の採択額がどのようになるか申請しなければ不透明な状況

竹内委員：3カ所複数年採択されればそれだけ補助される認識でよいか。

課 長：その通りである。1カ所当たりの単年度上限が7千万円となる。設置個所によっては7千万円の上限を超えることも想定される。

高橋委員：国庫補助2分の1町の負担は25%ということはどういうような形か。

課 長：図は国から示されたもの。国庫補助は申請額の半分が交付決定となる。そのほかの50%のうち半分を交付金措置、もう半分が町負担となるので、実質町負担額は25%である。過疎債等ほかの起債で有利な条件を調査していきたい。

委 員 長：スポットクーラーは補助対象か。

班 長：県内の状況は大和町、蔵王町で設置。補助についてはデジ田交付金を活用したとのこと。件について来年度の状況問い合わせ。不透明という回答であったが、準備は進めてということであったので、現在そのように進めている。

副委員長：キュービクル設置とのことだが、既存の改修か、新規設置か

班 長：1施設電力供給は1カ所の原則があったと思われるので、改修、増設になると思われる。確認したい。

伊藤委員：町の体育館は窓が多く、熱効率の観点から見ると非効率的。エアコンを入れた後電気代等の負担が心配である。

課 長：電気量については、交付金対応との話もあるが未確定である。ヒートポンプ式を想定するとガス代のほうがかかる。町負担にせざるを得ないだろう。窓については設計で考慮したい。

伊藤委員：キュービクルは亘理高校で2千万円かかった。本体設置とキュービクルまで交付金を見てもらえるのかも心配である。

課 長：エアコンを導入することによってキュービクルが必要かどうか判断となる。非常時にも使用できるような設計としたい。

班 長：ヒートポンプ式は、稼働時のみ電気を使用する設計であるため、そこまで大きな電力とはならない可能性もあるが設計時に確認したい。

高橋委員：エアコンを常時稼働するのではなく、エコ教育としてカーテンや窓を開けるなどをしてもらいたい。

委 員 長：以上で質疑を終了する。

(10時36分 教育総務課退室)

4 その他

今回まとめ担当 竹内 委員

5 閉会宣告 【委員長】